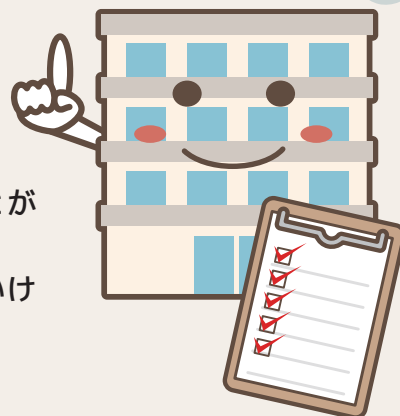
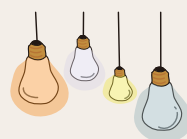


電子ブレーカの導入(契約電力の変更)は、 新電力会社に変える 前と後で差が出る!



契約電力の変更により電気料金を引き下げられることが
広く知られるようになってきました。
今回は、共用部分における変更をどのように進めていけ
ばよいのかを紹介します。

意外と知らない 電気料金の内訳?

昭和の時代の電気料金は、基本料金(固定)
と使用料金(変動)でしたが、現在では、燃料
費調整額(変動)と再生可能エネルギー発電促
進賦課金(変動)が加算されるようになってい
ます。

契約電力を下げると、 なぜ電気料金が安くなるの?

契約電力(契約アンペア数)を下げても安く
なるのは、基本料金(固定)なのですが、基
本料金の計算式は「契約電力×単価」が一
般的なため契約電力が下がれば基本料金が安
くなります。

共用部分での 基本料金の削減

エレベーターや給水ポンプなどで使われる動
力部分では電子ブレーカで契約電力を下げるの
が一般的です。電子ブレーカなら、管理組合様
の会社経営でおなじみのマンションECOサポ
ートセンター(株)がお勧めです。

電灯部分はLED導入後などに契約電力を下
げることを検討しましょう。業者選びのコツは改
善後の契約電力が6kVA以下なら最寄の電力会
社でスマートメータを設置するのがお得です。
7kVA以上なら工事が必要なので電気工事に依
頼しましょう。

契約電力の変更は、 新電力会社に変える前がお得!

電力自由化後も旧契約種別のままなら地域
電力会社では従来どおり1ヵ月程度で契約電
力を下げられます。しかし、新電力会社など
ではまだまだ新メニューでの契約電力の変
更(増減設)の流れが構築されておらず、そ
の手続きに何ヵ月かかるか分からないのが現
状のようです。

今後は、新電力会社に変える前に契約電
力の見直しを図る管理組合が増えていくこ
とを思います。



新電力会社に変える前に
契約電力を見直そう!

